

農政連だより

みどりの風

Noseiren Dayori Midori no Kaze

6
月号
No.234

球泉洞（球磨村：写真提供 熊本県）

全長4,800mの鍾乳洞は日本の中で3番目、洞内は一年を通じて気温16℃に保たれており、ひんやりとした空気が心地よく夏の避暑地である。3億年前の海底にできた石灰層が隆起したもので今も侵食が進んでいる。

主な内容

- ・ 県青協・県女性協通常総会の開催
- ・ JA れいほく青壮年部活動報告
- ・ ガンバッテいます：田浦裕一さん、野中育代さん、寺本眞理子さん、福嶋求仁子さん（女性協・新役員3名）
- ・ 各連合会からのお知らせ

わがわが

六月四日午後、千葉刑務所から釈放された菅谷利和さん（六十二歳）は、支援者に手を振りながら、満面の笑みをたたえていた。

その事件は栃木県足利市内で起きた。平成二年五月、市内のバチンコ店で父親がバチンコをしている間に、当時四歳の保育園の女兒が行方不明となった。翌日この女兒は、近くの河川敷で、全裸の遺体で発見された。そして、この女兒のTシャツに、犯人のものと思われる微量の体液が付着し発見された。

当時、足利市では、昭和五十四年、同五十九年にも同様の幼女殺害事件が発生しており、栃木県警は同一犯による犯行と、警察の威信をかけた総力戦での捜査を展開していた。

こうした中で、同市内の幼稚園のバス運転手であった菅原さんが容疑者として浮上すると、一年間に及ぶ尾行を続け、体液のついたテッシュペーパーを回収した。そして、下着に付着したDNAが、菅原さんの物と一致したとして、平成三年一月の早朝、菅原さんに任意同行を求めた。そして、この鑑定と菅原さんの自由を有力な証拠とし、「一審は無期懲役、最高裁も有罪を支持する決定を行い、実に十七年半、獄中に囚われたままだった。

今回晴れて釈放となった菅谷さんは、一日も早く両親の墓前で、私は犯人でないと伝え、今後「冤罪で苦しむ人たちのために支援活動をしたい。」と語っていた。

同じく無罪が確定し、昭和五十三年、三十四年ぶりに釈放された人吉市の免田栄さんは、当初地元で大変な歓迎を受けた。しかし依然として残る偏見の中での生活は難しく、引越さざるを得なかったという。

今回、足利市長は、「市民の代表として歓迎したい。名誉回復してほしい。時間を過ぎずなりたい。いろいろなサポートができるか考えた。」と述べている。

菅谷さんの、今後の平穏な生活を心から望みたい。

県青協通常総会開かれる

新委員長に西富大二郎さん



▲祝辞を述べる JA 熊本中央会園田会長

県青協の通常総会で役員改選が行われ、新役員が選出された。

熊本県農協青壮年部協議会は5月8日、JA熊本経済連ホールで第54回通常総会を開き、組織基盤の強化や青壮年部研修会の実施など重点活動計画を策定し、組織の活性化に取組むことを決めた。

総会では、河野委員長が「盟友が元気に農業をやっているように、青壮

年部の協同の精神を次世代につなぐためにも盟友・組合員研修などに力を入れて、さらなる組織の活性化に努めていきたい」と挨拶。

役員改選で、委員長にJA熊本市の西富大二郎さん、副委員長にJAたまなの上原泰臣さん、JA熊本うきの善積智晃さん、参与到河野大介前委員長を選んだ。

平成21年度は、新規学卒就農者の減少などから青壮年部盟友数も減少しているが、全青協・九青協と連携しながら以下の重点事項を実施して組織基盤の強化と活性化に取組む。



▲新委員長の西富大二郎さん

活動項目

1. JA青壮年部組織の活性化に向けた取組み

- 新規部員の加入促進
- JA青壮年部台帳の整備促進
- 情報連絡網の整備・徹底

- 青壮年部研修会の実施
- 健康診断の受診促進
- 専門部会の開催
- 海外研修の開催検討

2. JA組織・事業・運営についての学習活動を通して、JA運営への参画促進

- 盟友の正組合員加入、総代及び理事就任の促進
- 経済事業改革に向けたJA・経済連との意見交換
- JAの組織・事業・運営の学習活動
- JAグループならびに各連合会との連携強化

3. 消費者に対する「食の安全・安心」「地産地消」への理解促進

- 県農畜産物の安全・安心対策
- 食農教育・地産地消運動の展開
- 消費者等との連携強化
- 手作り看板の制作
- 学校給食への食材提供等の取組み

4. 「日本農業新聞」「地上」等の学習資料の普及・活用

- 年間を通じた購読促進
- 地上紙面検討会の開催



▲新役員の紹介



▲西富会長（右：JA熊本市）、上原副会長（中央：JAたまな）、善積副会長（左：JA熊本うき）

県女性協通常総会開かれる

新会長に野中育代さんを選任



▲野中会長（右：JA あまくさ）、福島副会長（中央：JA 菊池）、寺本副会長（左：JA あしきた）

県女性協の通常総会で役員改選が行われ、新役員が選出された。

JA熊本県女性組織協議会は5月11日、JA教育センターで第56回通常総会を開催、JA女性組織の活性化対策とJA運営への女性参画を最重要課題として取り組むことを決めた。

総会では、三津家会長が「新3カ年計画の継続実践により女性組織の活動と強化をすすめていきたい」と挨拶。



▲新役員の紹介

今回、役員改選で会長にJAあまくさの野中育代さん、副会長にJA菊池の福島求仁子さん、同JAあしきたの寺本眞理子さんを選んだ。

平成18年の第24回JA全国大会「食と農を結び活力あるJAづくり」「農」と「共生」の世紀を実現するために」の決議をふまえ、日本農業の振興と地域社会への貢献を果たすため、平成21年度も「JA熊本県女性組織協議会新3カ年計画」（平成20年度～22年度）

の2年目として以下の重点活動に取り組む。

活動項目

1. 農と暮らしを支える取組み
 - 地産地消運動の実践
 - 食農教育の実践
 - 農産加工所や直売所等の起業支援
 - 伝統食の継承活動
2. 食と地域を守る取組み
 - 健康で風土に合った食生活の学習・実践運動
 - Aコープマーク商品の愛用運動
 - 子育て支援活動
 - 地域ボランティア活動の実践
 - 環境問題への取組み
3. 家族の主役、JAの主人公になる取組み
 - 家族経営協定の締結推進と締結内容の見直し
 - ライフプラン策定研修会の開催促進
 - 女性組織の活性化促進
 - 仲間づくり運動
 - フレッシュミスの育成
 - JA経営への参画促進
4. 「家の光」の記事を活用したJA女性組織の生活・文化活動の実践
5. 「組織づくり検討委員会」の継続



▲開会を宣言する枝尾副会長



▲各連合会から活発な活動をしたJA女性部を表彰

6. JA青壮年部との連携強化

開催

青壮年部活動報告

■ JA れいほく ■

苓北町は天草諸島の北西端に位置し西は天草灘、北は千々石灘の二つの海に接し、海に突き出した富岡半島を中心にした扇形をしています。

気候は全般的に温暖で、年間降雨量は2,200mm位、天草諸島の中では比較的降雨量は少なく、夏から秋にかけては日照りが続き干ばつになりやすい地域でもあります。年平均18.2度と暖かく、秋冬野菜栽培には適した気候となっています。

主な農産物は冬レタス、早堀バレイシヨ、極早生タマネギ、ミニトマト等の野菜と温州、晩柑、デコボン等の果樹、それに繁殖牛等があります。その中でレタスの取扱高が一番多く、熊本県内でも一番のレタス産地となっています。

JA れいほく青壮年部（長野幸治部長）は30名という少ない部員ながら、お互いの信頼は厚く、みんなで協力し合っています。

A行事への積極的な参加など、色々な活動を行っています。活動として、スポーツ大会、JAの総合祭での杵つき餅の出し物、町の祭りにボランティアスタッフとしての参加、道路沿いのゴミ・空き缶の收拾作業といった活動。また、総会資料の勉強会や、簿記講習会といった講習会も適宜行っており、また、他事業者との懇談も積極的に行っています。

青壮年部は年齢層が幅広く、農業40年のベテランから学卒新規就農者まで加入しており、盟友同士の情報交換が非常に多いことが特徴です。

また、今年度は青壮年、4H、商工会、漁協等で組織する収穫祭を行うため、新たに取り組みを進めています。



色々な活動をしている青壮年部のみなさん



すてびソウの看板設置



道路沿いの空き缶拾い



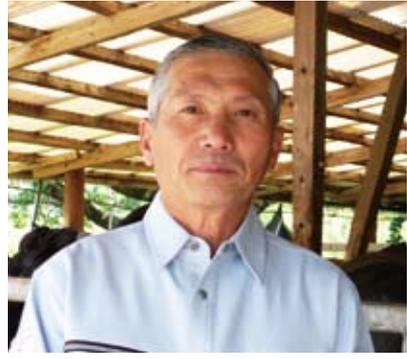
もちつきの様子



親睦会の様子



ガンバリます



田浦 裕一さん
JAあしきた 肥育牛部会長

JAあしきたの肥育牛部会長田浦さんのお宅を訪問しました。

田浦さんは昭和24年7月生まれ。知人である畜産農家の影響を受けて牛に興味を持ち、20才の成人の日には、皆に「これから牧場をやってみたい」と宣言。牧場経営一代目として肥育一筋30年余、JAあしきたの理事など要職にあるが、「あしきた牛」の銘柄を全国に広めるべく日々活躍されています。

現在、黒毛和牛2つの頭を飼育されています。

■良質な肉牛をつくるために

配合飼料の高騰などから畜産の経営は厳しい状況にあります。国、JAの資金対応により乗り切ってきたが、未曾有の世界的不況により消費者需要が低迷する中、畜産農家の厳しい状況は変わりませぬ。

でも消費者に肉牛のおいしさを味わっていただくために素牛の選別、病予防のビタミン剤のコントロール、飼料の給与、給水管理などに気を使いな

がら良質な肉ができるよう切磋琢磨の毎日です。

■肥育部会の活動

これまで他地域との交流や飼養管理の継続成長に併せた飼料の給与などに工夫を凝らしてきた結果、部員が育てる「あしきた牛」は、肉牛枝肉の上物率が卓レベル以上で非常に高い。

先の「農業コンクール」の組織部門で、4等級以上の上物率が60%を超える部会として特別賞をいただきました。

■55歳まで

「平成9年の経済連主催の肉牛枝肉共励会でグランドチャンピオンに輝き、同時に銀賞、銅賞入賞をしたときのことだ。

「このときはいろいろ苦労もあったが、この仕事を続けてきよかったです」と当時を思い出しながら、夢を追いかけて牛を飼いはじめ、少しずつ夢が実現。これからは、息子が夢を完成させるのが楽しみだ」とこやかに語ってくれました。

■直売所で「あしきた牛」を

芦北インターチェンジの近くに4月19日、JAあしきたの直売所「こぼん」がオープンしました。高速道路開通と高速料金10000円の追い風もあり、入場者が一ヶ月で10万人、一日の売り上げも相当なものでした。「あしきた牛」をはじめ、芦北の特産物や県下の農畜産物などが並べられ大盛況です。

■好きな言葉

気骨 「農業に誇りを持って、挫けず立ち向かって行けば、夢は叶う」と話していただきました。



野中 育代さん 寺本眞理子さん 福嶋求仁子さん

JA熊本県女性組織協議会 新三役

■第五十六回JA熊本県女性組織協議会通常総会の開催

五月十一日、教育センターにおいて、JA熊本県女性組織協議会通常総会が開催されました。

その通常総会において、会長にJAあまのさの野中育代さん、副会長にJAあしきたの寺本眞理子さん、JA菊地の福嶋求仁子さんが、新たに選出されました。今回はこの三名に新役員としての抱負をお伺いしました。

■新会長 野中 育代さん

野中さんは天草出身。平成十五年度より女性協理事につき、同十七年度より三

津家前会長のもとで、副会長として頑張ってきた。これからは会長として頑張りたいかれます。

「今まで副会長として活動してきましたが、会長としての責任は重大です。今まで部会を支えてこられた先輩方に恥じない活動を展開し、また初心に戻り、皆様方のお力添えをいただきながら女性協の為に頑張りたいと思います」と、抱負を述べられました。またフレッシュミズについても、「これからは、若い世代の方も活動を頑張ってもらいたいと思います。女性部活動は、勉強の場、助け合いの場にもなりま

■副会長 寺本 眞理子さん

寺本さんは芦北郡出身。芦北の女性協理事として活動されてきました。

「地域の活動を第一に考えて、みなさんの声を集めて、協議会に反映させたい。そして野中会長のもと一致団結して、問題に取り組みたいと思います」と語られました。

■副会長 福嶋 求仁子さん

福嶋さんは合志市出身。今まで女性協理事として活動されてきました。

「女性部の活動を通して、農家と地域の団地・新興住宅地の女性の方々との橋渡し、パイプ役になりたい。地域の方々と繋がりを作ることによって、食育の大切さや、国産、地元産の農産物をアピールしていきたいです」と語られました。

JAグループ熊本「弁当の日」 毎月18日実施

JAグループ熊本は県下JA、連合会役員を対象に、毎月18日を「弁当の日」として設定し、第1回目の5月18日(月)からスタートさせました。

この弁当の日は、全国JAで展開している「みんなのよい食プロジェクト」の一環として、JAグループの内外に向けて食への理解促進と米の消費拡大運動に取り組むものです。

弁当の日は、基本的ルールとして、



▲中央会職員が自ら作った弁当が勢ぞろい

国産・県産の素材を、役員員自らが購入し、自分で作って持参する一というものです。

JA熊本中央会ではこの18日、全職員が初めて自分で作った弁当をお披露目。恥ずかしながらも、「まあまあ良くてきた」と男性職員も自我自費。海苔で作った笑味ちゃんごはんも人気でした。

推進事務局の農政広報部の森田祐史部長は「自分で購入し、そして朝早く起きて自分で料理し持参することは、食への理解促進の上からも大変重要。今後、確実に定着させていきたい」と意気込みをみせていました。



▲男性職員も自ら作り持参

生活事業・組織品目担当者研修会

JA熊本経済連と中央会連合会営農生活センターは、14日同経済連7Fホールで、生活事業・組織品目担当者研修会を開きました。県内JAの生活事業・組織品目担当者ら約100名が参加しました。

JAの生活活動の提案や平成21年度の共同購入愛用運動の取り組みについての報告のあと、ジューシーやエコープマーク品の生わかめ・スーパーナチュールホワイトの洗剤の商品研修と、(株)エコープ熊本より家庭薬についての説明を行いました。

また、「バランスのとれた食生活について」と題して、料理研究家であり管理栄養士の村上祥子さんが実演つき講演を行いました。5月に宅配するふれあい食材のお赤飯や塩さばドレッシング、絹豆腐などを使って、およそ8品目を、電子レンジを使って実際に調理。体づくりの基本は健康な食事が大切であり、ふれあい食材を使った日本型食生活の大切さを、参加者は改めて実感していました。



▲研修を受ける生活事業・組織品目担当者

トルコギキョウ品評会

熊本県花き協会トルコギキョウ部会は、5月15日から18日までの4日間、上益城郡嘉島町のイオンモール熊本クレアで、県下のトルコギキョウを一堂に集め品評会を開催しました。熊本県は、トルコギキョウの作付面積・出荷量共に全国2位の産地で、全国各地に出荷を行っており、今回の品評会は、県下各地の産地から89点、45品種を展示。品評会開催中は、アンケートと人気投票を行いました。



▲熊本クレアでのトルコギキョウの展示

展示の最終日の18日には、審査員による審査を行い、表彰式と講演会及び種苗メーカーによる品種説明会を実施しました。

品評会受賞者は次のとおり。(賞品名・生産地・生産者名)

◇金賞Ⅱボヤージュグリーン・あさざり町・溝辺節子◇銀賞Ⅱエクレア・植木町・青木淳マキングオブスノー・八代市・吉永親◇銅賞Ⅱピッコロブルー・ピコティ・熊本市・右田誠一マクラリスピンク・熊本市・高内良一マピッサローサスノー・宇土市・芥川幸信◇特別賞(人気投票第一位)ラブレター・宇土市・斉藤至

アンパンマン壁紙がダウンロードできる

「JA共済ホームページ」のご紹介

JA共済では、組合員・利用者をはじめ多くの方に共済の仕組みや事業内容をご理解いただくため、JA共済ホームページを開設しています。

JA共済ホームページでは、「仕組みの解説」「掛金見積りサービス」「JA共済窓口検索」「キャンペーン情報」など豊富なコンテンツを提供しています。

トップページ上段には「保障とサービスのご案内」と「ひと」「いえ」「くるま」

るま」大きなリンクボタンを設置しており、保障内容をわかりやすくお伝えできるよう、各仕組みとも特徴をまとめたポイントに記載しています。

また、「オンライン見積りe-サービス」をクリックすると、「ひと・いえ・くるまの見積総合サイト」にジャンプ。画面に従い必要事項を選択すると、加入に必要な共済掛金をWeb上で試算することが出来ます。

そのほか「ずっとサンキューキャンペーン」の応募や最寄りのJA共済窓口の検索、さまざまな特典を受けることができる「しあわせ夢くらぶ」の紹介なども行っています。

さらに、アンパンマンのキャラクターたちがJA共済に関するクイズを3問出題し、全問正解すると「JA共済オリジナルアンパンマン壁紙」をダウンロードすることができる。ダウンロードする「アンパンマンと遊ぼう」をご用意。正解するまで何回でも挑戦することができます。一度チャレンジしてみてください。



「そんなに高い？食料の価格」 おうちで作るおにぎり1個は24円

食に対する志向は、年齢別で多様化しています。農林漁業金融公庫の食の志向についての調査によると、年齢の高い人は「原産地（国産品）」や「原材料（添加物など）」を重視する割合が高い一方、若い人は「価格」を優先する傾向が出ました。

また昨今の経済不況のなか、多くの国民が節約といつこと、まずは食費を切り詰める傾向があるとのこと。あまり食費をかけたくないと思う一方、健康的で美味しくなくてははいけません。例えば、茶碗1杯のご飯は、東京都区で買った場合、1杯24円※注です。一方、パンを買った場合、例えばあんぱん1個は95円です。また、おにぎり1個を外で買った場合122円で、家

でご飯を炊いた茶碗1杯を自分でおにぎりにすれば原料代は24円程度で済みます。健康のためにも、家計のためにも、家で料理をしていくことは賢い生活術ではないでしょうか。

参考：「世界と日本の食料・農業・農村に関するファクトブック2009」

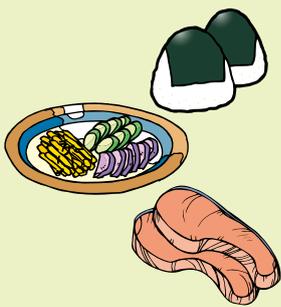
総務省「小売物価指数2008年12月」主要品目の都市別小売価格

※注：ご飯1杯は米65グラムで換算

「よい食クイズ」

Q・日本初の給食はおにぎりと塩鮭と漬物だった！

ウン？ ホント？



←正解は裏面へ

あしがき

● 梅雨に咲くあじさいは、時の移りにあわせて七変化に花色が変わります。



六月に咲く花【紫陽花】

アジサイの名は、藍色が集まったものを意味する「あじさい」（集真藍）が訛ったものと言われています。

庭を彩るあじさい、実は毒性があり、現に飲食店の料理のツマとして添えられていた葉を食べて食中毒を起こしたという記事があります。身近な植物にも毒性のあるものがあるので気を付けましょう。

(花)心変わり

アジサイ科 落葉低木 日本

● 盟友の皆様のご意見や周辺地域の話題、写真等、各地区の総支部・支部（JA本・支所）へお寄せいただければ幸いです。

連絡先 熊本県農政連

電話 096-328-1284

FAX 096-326-5807

「ひと・いえ・くるま」の安心、バランスよくそろっています。

これまでも、これからも、あなたの人生を支えるために、JA共済は幅広い安心をご提供し続けます。

JA共済

- ひと ● 医療共済 ● 終身共済 ● 養老生命共済 ● こども共済 ● 予定利率変動型年金共済 ● がん共済 ● 定期医療共済 ● 定期生命共済 ● 傷害共済 など
- いえ ● 建物更生活共済 ● 建物更生活共済 My家財 ● 火災共済 など
- くるま ● 自動車共済 ● 自賠責共済

●詳しくは、お近くのJA（農協）へお問い合わせください。■ホームページアドレス <http://www.ja-kyosai.or.jp> ずっとサンキューキャンペーン実施中！ <http://www.3qja.jp>

09481050130

JAグループ熊本

毎月18日は、「弁当の日」

基本的ルール…
役職員自らが
①県産品・国産の素材を購入します
②自分で作って持参します

「みんなのよい食プロジェクト」の一環として、食への理解促進と自給率向上、米の消費拡大等を役職員全員で取り組みましょう。

JA 熊本中央会

【よい食クイズ】

答え：ホント

1889年に山形県鶴岡市の小学校で出されたおにぎりと焼き魚、漬物が学校給食の始まりだよ。

最近では、その土地で作られた農畜産物を、給食で食べようという学校が増えてきているよ。

JA全中発行「ごはんちゃワンのお米クイズ生活編」より

JAグループ熊本

お得でよかばっ!!

大型規格 農薬 KURA MOTO

低コスト実現

エムダイファー® 水和剤 10kg 5004-0010	ラウンドアップ® マックスロード 20ℓ 5004-0010	ガスタード® 微粒剤 20kg 5004-0010
エムダイファー® 水和剤 20kg 5004-0010	バスタ® 液剤 2.2ℓ 5004-0010	ネマトリンエース® 粒剤 10kg 5004-0010
ベンコセブ® 水和剤 10kg 5004-0010	バスタ® 液剤 10ℓ 5004-0010	ネビジン® 粉剤 10kg 5004-0010
ラウンドアップ® マックスロード 2ℓ 5004-0010	タッチダウンIQ® 6ℓ 5004-0010	フロンサイド® 粉剤 20kg 5004-0010
ラウンドアップ® マックスロード 5.5ℓ 5004-0010	タッチダウンIQ® 20ℓ 5004-0010	エコビタ液剤® 5ℓ 5004-0010
ラウンドアップ® マックスロード 20ℓ 5004-0010	フリグロックスL® 5ℓ 5004-0010	スプライド® 乳剤 5ℓ 5004-0010

JA熊本経済連